


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社レ・デ・モ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
																																			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念をリモート会議で共有し、今後のレンタル業に必要なIT化を実現している。従業員は自ら新たなレンタル商品に向けて提案し、市場を作り達成感を感じるようにしている。							8	9														17								
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の規定とマニュアルがあり、レンタル商品の貸し出しは免許の写しを取り、免許の内容を確認する。会社外への持ち出しは道路交通法に基づき従業員に啓発を行っている。コンプライアンス研修も毎月行っている。																						16								
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社全体で下請け等に無理な発注が無いが確認している。その後、値引きが無いが、支払い条件を満たしているかの確認をしている。													10									16								
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		産業廃棄の責任者とストックヤードを決め、処理業者に回収をお願いしている。																						16								
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関する研修や勉強会を実施している。													8.2 8.3	9																
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報に関する研修を実施している。また、個人情報を社外へ持ち出すことを禁止している。																						16								
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		社員全体でステークホルダーとの対話を大事にするように努めている。その情報を社内でも共有している。																					16	17								
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5									8		10			12	13	14	15	16	17						
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																		9			11				13.1	16	17					
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者を選定しており、育成している。															8	9								17						
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		フェアトレード商品導入割合を増加させるため、社内での調達システムの見直しに取り組んでいる。		1					2															8				12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		企業理念において全ての社員を平等にし、ハラスメントが無い様になっている。同時にコミュニケーションも図り誰一人取り残されない差別のない体制運営を徹底している。					4.3 4.4 4.5									8.5 8.7 8.8												16.1 16.2 16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全衛生の講習会で事故事例を発表し共有するなど、事故防止に努めている。															8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		労務士と共有し同一労働同一賃金等になるように努めている。																														
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		有給休暇の取得推進を行っている。労働時間短縮のため人員を増やし、なおかつ簡素化できるところは社員と共有し効率化を図っている。																														
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		資格、技術向上の講習会への参加を推進している。良好な職場を作るため管理職に教育をしている。																														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎朝朝礼を行い、健康状態の確認、事故防止に努めている。毎年健康診断を行い気になるところがあれば会社負担で検査を受けてもらうよう推進している。																											17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		人種・性別・障がいの有無・年齢の違いによる差別的な待遇のない人材が職場で活躍出来るような組織づくりを行っている。																														
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		新型コロナウイルスの感染症対策として、会社全体でグループラインを作り、非接触に努めている。会議はWeb会議を行っている。																														
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ICT建機の活用に取り組んでいる。講習会も開催し新たな建機業界への変革に取り組んでいる。																														
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																																

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社レ・デ・モ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害物質は指定業者に依頼し処理している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		【予定】節電を徹底するとともに、簡易計算シートを用いエネルギー使用量を把握し削減していく。(令和3年7月以降実施予定)							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】簡易計算シートを用い温室効果ガスの排出量を把握し削減していく。(令和3年7月以降実施予定)		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業所で廃プラを減らすためマイコップなどを利用し、プラマークのついたモノは使用を控えてもらうよう努めている。						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ゴミを減らすためストックヤードより再利用できるものを選別している。修理等のASSY交換を減らし劣化した部品だけを交換している。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水を出したままにしないよう節水を心がけ、量の調整を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		建設機械は最先端機械の排ガス対策車にしている。首都圏と同じく、自動車登録を初めて受けた日から7年経過している古い車両は5%以内になっている。										9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●		太陽光エネルギーのついたハウス、トイレカー、ソーラーパネル、蓄電池を導入している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4		11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●		電動バックホー、電動自動車、電動高所作業車など電動化に移行している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

